

戦後79周年 北区から

# 平和の発信を

北区議会第2回定例会には、イスラエルによるガザ侵攻の中止を求める2つの陳情が議会に提出されました。全国の多くの自治体と同趣旨の意見書を採択している中、自民、公明、維新などが反対し、陳情は「不採択」となりました。

北区では、8月6日から10日を「平和祈念週間」と位置づけ、飛鳥山公園に建つ平和の女神像の創建50周年記念式典を7日に開催。北とぴあでは期間中、この彫刻の作者である北村西望氏の作品展も開かれました。平和を求める声を、この北区から大きく発信していきましょう。

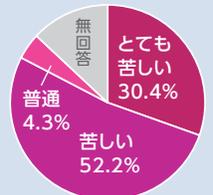


原水禁世界大会の成功をめざす国民平和大行進 = 7月24日、王子駅前公園



## 訪問介護事業所の窮状へ支援を

党区議団は区内の訪問介護事業所を訪ね、4月の報酬引き下げによる影響を調査。5月には結果をまとめ記者会見を開きました(写真)。「経営が苦しい」が8割を超え、廃業を検討する事業者も。議会では実態を示し、事業者への支援を求めました。



## 区民支援制度のさらなる拡充を

野口 まさと議員

代表質問で、区立16の公園に指定管理者制度を導入したことで、清掃職員の体制や賃金が大幅に引き下げられてきたことを指摘、来年度に公園の全面指定管理化を進める計画は、見直しをするよう求めました。

また、補聴器助成制度のさらなる拡充、学用品の無償化、就学援助制度の基準見直し、高齢者ヘルシー入浴補助券の支給要件緩和、未就学児の国保均等割の無償化など、区民支援制度のさらなる拡充を求めました。



## 給付型奨学金の負担軽減を提案

山崎 たい子議員

北区独自の給付型奨学金について、これまで中間所得層までの対象拡大や医療・介護・教育分野で働く方への返済支援を求めてきました。6月の質問では生活保護世帯の大学生などに対象を広げ、建設やものづくり分野についても返済事業に取り組むよう提案。北区は「検討に着手している。都が実施している返還支援事業も周知する」と答弁しました。



## 赤羽まちづくりに住民の声を

のの山 けん議員

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画の第5回策定検討会で、区が提案した「中間報告」案に委員からの意見が相次ぎ、取りまとめに至らなかったことについて、区が「評価」の確定と案の絞り込みを急ぎすぎたことが原因ではないかと指摘。「報告を取りまとめる前に、地域住民や子どもの意見を聞く場を保障すべき」と要望しました。



補聴器助成制度の拡充を



小中学校の学用品は無償に



子どもの国保均等割は無料に



## 暮らし支援の底上げを

宇都宮 ゆり 090-1406-7995  
神谷 2-21-7 (事務所)

6月から今年度、新たに住民税非課税・均等割のみ課税となる世帯を対象に10万円のエネルギー・価格高騰支援給付金の支給が始まっています。

私は健康福祉委員会で北区は昨年度の実績をいかし、北区独自に課税者の扶養親族等のみの世帯や家計急変世帯へも対象を広げること、そして今年度も住民税非課税・均等割のみ課税となる世帯に給付金を届け、生活支援をすることを求めました。



## 政調会で活発な議論を

せいの 恵子 070-3531-0812  
滝野川 3-56-7 (事務所)

政務調査会長会で「高等教育費の無償化の推進を求める意見書」を提案。結果は、各会派がその重要性を認めたものの、国や東京都の動向、各党の政策での主張を理由に、自民・公明・維新・都民ファの賛同がえられず、提出には至りませんでした。

私は会派の政調会長として、北区議会としての意見書提出は国や都の政策のあと押しとなるため、各意見書案についても活発に意見交換を行い、議論を深めあうことを求めました。



## AEDはどこに?

ながい ともこ 080-4429-6338  
浮間 3-15-4 (事務所)

先日、町会の防災訓練で、心臓マッサージとAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びました。その時にAEDはどこにあるのだろうかという話題になりました。

私は防災対策特別委員会で、学校などの区有施設の他に、駅やスーパーなどにもAEDが設置してあるので、合わせて分かるようにしてほしいと求めました。北区は、「今後AEDの設置施設を調査し、災害ポータルサイトなどで表示できるよう検討する」と答えました。



## 住み続けられる北区に

野口 まさと 070-5658-0603  
上十条 1-15-9 (事務所)

物価高騰の影響でしょうか、高齢者や子育て世帯の方を中心に住宅に関するご相談を多くいただいています。都営・区営住宅の家賃は、北区の場合、所得にもよりますが単身者では約2万円、夫婦子ども1人の3人世帯でも約3万円です。

タワーマンションなど高額所得層向けの住まいが増えている北区ですが、高齢者や非正規労働者も北区で住み続けられるよう、都営・区営住宅を増やしたり、以前行っていたような家賃補助制度を復活させる必要があります。



## 弊害多いタワマン建設

のの山 けん 090-2156-3510  
岩淵町 22-31-401

先の都知事選では、樹木を伐採してタワーマンションを誘致する神宮外苑再開発の是非が大きな争点に。赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会でも「十条駅前の39階建てビルは、かなり異様な光景」との声が上がっていました。

昨今、タワマン建設には、景観や環境への影響、災害時における脆弱性、将来的な廃墟化の恐れなど、さまざまな弊害が指摘されています。大型再開発ではなく、学校、公園、商店街など赤羽の魅力を守り、残すまちづくりを住民合意で。



## いま注目の芥川記念館

本田 正則 090-9240-8066  
田端 3-4-12-305

7月26日付「毎日新聞」に、「芥川龍之介を『体感』書齋を実寸大再現へ 東京・田端文士村記念館」という芥川の命日、河童忌にちなんだ記事が掲載されました。

7月12日の都市ブランド推進特別委員会には、芥川記念館の着工に加え、文士村記念館での龍之介転入110周年記念展や、生誕祭を開催することが報告されました。その他、渋沢邸の茶室「無心庵」再興検討など渋沢栄一関連事業や、北区観光協会の事業報告がありました。



## 物価高騰への給付金を

山崎 たい子 090-2160-1292  
豊島 7-19-10

本会議質問で「今も物価高や電気代値上げで苦しんでいる区民、低所得者や非課税世帯を対象に、今年度も給付金を実施すべき」と区に要請。今年度末、区民のために自由に使える基金残高が、3月の予算審議時点から40億円も増額となった財源も活用し、北区独自でもふみだすべきと提案。

区民生活委員会では、9月に発行される20%プレミアム付き区内共通商品券(デジタル商品券も始まります)の年度内の追加発行も要望。くらしにこそ光をあてていきたい。

お困りごとがあれば  
ためらわずご相談を

日本共産党北区議員団

TEL 3908-7144 FAX 5993-0280

MAIL: mail@kyoukita.jp

